

災害から自分たちの家族と地域を守ろう！

家族で防災について話し合おう

災害は、いつ襲ってくるか分かりません。被害を最小限に食い止めるためには、日頃から準備をしておくことが大切です。

以下のことを準備・確認する、「家族防災会議」を行い、家族で防災について話し合う機会を持ちましょう。

災害時には、家族全員が協力し合うことが求められます。「家族防災会議」は、一度で終わりにせず、定期的を開催しましょう。



家族一人ひとりの役割分担を確認

いざというとき誰が何をするのか決めておきましょう。高齢者や乳幼児などがある場合は、誰が支援の中心になるのかも話し合っておきましょう。

非常持ち出し品を準備

家族構成を考え、最低でも3日分は用意しましょう。また、非常持ち出し品の置き場所を決めましょう。

災害時の連絡方法や避難場所の確認

家族が離ればなれになったときの連絡方法を決めておきましょう。また、市が発行しているハザードマップなどを利用し、災害時の危険箇所や避難場所を確認しましょう。



自分たちのまちは自分たちで守りましょう

大災害が発生したときには、交通機関の寸断や同時に多発する火災などにより、消防や警察などの防災機関が十分に対応できなくなることが考えられます。そんなときに力を発揮するのが地域ぐるみの協力体制「自主防災組織」です。

住んでいる地域の防災情報などに日頃から耳を傾け、いざというときの活動に参加できるように心構えをしておきましょう。



自主防災組織

※市では、全町会に「自主防災組織」をつくっていただくことを目標としています

■ 問合せ＝危機管理課 ☎(20)3056



気象情報を活用して大雨や台風へ備えよう！

災害から身を守るためには、普段から災害に対する備えをしておく、危険を感じたら早めに避難するなど、身を守るための行動を起こすことが重要です。

それに役立つのが、気象庁などが発表している気象情報です。テレビやラジオ、インターネットなどで最新の気象情報を入手するよう心掛け、早め早めの行動を取るようにしましょう。



POINT

最新の気象情報をすぐに確認できるようにしておこう！！

○宇都宮地方気象台ホームページ：<http://www.jma-net.go.jp/utsunomiya/>

気象注意報・警報、土砂災害警戒情報の発表状況、レーダー・ナウキャスト（雨の分布状況と1時間先までの予測状況など）、台風情報が分かります。

○栃木県ホームページ

とちぎリアルタイム雨量河川水位観測情報：<http://www.dif.pref.tochigi.lg.jp/>

県内の降雨状況、秋山川や渡良瀬川など地元河川の水位が分かります。

とちぎ土砂災害警戒情報：http://www.dif.pref.tochigi.lg.jp/dosya_keikai/alert_map.asp

土砂災害の危険度情報などが分かります。

○国土交通省関東地方整備局ホームページ

国管理河川洪水浸水想定区域：http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/river_00000333.html

※国管理河川（渡良瀬川・秋山川・旗川）の想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域が変更されました

2017年は、カスリーン台風から70年



※詳しくは渡良瀬川河川事務所ホームページをご覧ください（QRコードからアクセスできます）

防災講演会

昭和22年9月のカスリーン台風は、渡良瀬川流域に甚大な被害をもたらしました。今年のはカスリーン台風から70年を迎えます。過去の被害から学び、災害に対する心構えや備えについて考えるきっかけとなる防災講演会を開催します。

▼日時▶ 9月21日(木)午後1時30分～4時

▼会場▶ 足利市民プラザ文化ホール

▼費用▶ 無料

▶ 申込▶ 川のふれあい館「せせら」
☎0284(44)3001（木曜休館）



■問合せ＝危機管理課 ☎(20)3056

